

流産・早産

流産とは、妊娠22週未満に何らかの理由で胎児が育たない、または流れ出てしまうことを言います。

早産とは、妊娠22週以降37週未満までの早い時期での分娩を言います。

★こんな時は早く受診して下さい。(37週未満)

電話で相談の上受診してください。

破水したとき(水っぽいおりものがあるとき)
お腹がたびたび張るとき
下腹部が痛いとき
出血または血の混じったおりものがあるとき

※受診方法については[入院について]を参照してください



★予防方法

- ①重いものを持ちたり、疲れるほどの仕事はしないようにしましょう。
長時間の立ち仕事も避けましょう。
- ②お腹が張ってきたら、横になるなどしてすぐに休みましょう。
- ③お腹を圧迫するような姿勢はやめましょう。
- ④おっぱいの手入れは、妊娠36週に入るまで控えましょう。
- ⑤自動車や自転車の振動は子宮収縮をおこしやすいので、なるべく長時間は乗らないようにしましょう。

★治療方法

- ①安静が何よりも大切です。ご家族の協力を得て心身ともに安静にして下さい。
 - ・自宅安静といわれたら、家事を減らしましょう。
 - ・横になって休むことが大切です。
 - ・入浴は長湯や熱い湯に入らないようにしましょう。
 - ・夫婦生活は避けましょう。
 - ・お腹を締め付けないようにしましょう。
- ②お薬を飲みましょう。
 - ・安静が守られていないとお薬の効果は半減します。



症状が続いたり、重い場合には入院が必要となることがあります。